

個人と組織の活性化お役立ち情報

なでしこ通信 vol.1

編集・発行 株式会社 3 キャリア



宣言企業インタビュー

「休業日」が生んだ!? 業績アップ

イトウシャディ株式会社

「皆の行動力が素晴らしい」と社長が微笑めば、「思ったことを自由にさせてもらえるから」と社員が応える。店内にあふれる活気は、社員の「やる気」の表れだ。

牧之原市などに3店舗を展開し、ギフト販売などを手がけるイトウシャディ。経営陣を除く社員全員が女性で、地域密着の接客に定評がある。しかし、ネットストアやコンビニの参入など競争が激化する中で、生き残るには新たな展開が必要と感じた伊藤義康社長は、3年前に外部から経営スタッフを迎え、改革に乗り出した。

まず取り組んだのは「休みを増やす」こと。年3日だった休業日を段階的に20日に増やし、研修会と定休日にあてた。全員が一斉

に休める日を増やしたのだ。「以前は休みでも店から電話があったりして、いつも仕事に追われていた」と話すのは度会洋子スーパーバイザー。完全休業日ができたおかげでオンとオフのメリハリがついた上、同僚と「一緒に」余暇を楽しむ時間ができた。社員同士のコミュニケーションは以前に増して円滑になり、気持ちの余裕が予想以上の効果をもたらしたそうだ。ディスプレイを工夫してみよう、ギフトの組み合わせをお客様にあわせて変えてみよう、と社員発の提案は目に見えて増えた。

自発的な動きはオリジナル商品の開発にも見られる。コンテスト受賞店のソーセージや特産のお茶を使ったスイーツなど、社員が「足で稼いで」見つけた地元の産直ギフトは好評を博した。自分ならこれが欲しい、という女性ならではの視点が客の立場に立った新しい商品を生んでいる。「常にアンテナを張っていますし、どんどん直接交渉します」と話す度会さん。仕事に「追われる」と感じていた以前との一番の違いは「自分で動くことの楽しさ」だという。

この他、全員参加の研修会は、会社の方向性を確認し、商品情報を共有する機会として活かされた。3店舗が個別にしていた



仕入れ、在庫管理をスーパーバイザーが統括し、無駄を省くようになった。売り場の動きに即した素早い対応も可能だ。

結果、営業日が減ったにも関わらず、昨期の売上高は前期比102%。賞与もアップし、この2年間離職者もいない。

伊藤社長は「社員のやる気スイッチを押すのが社長の仕事」と話す。営業日を減らすという異例の改革は、結果的に社員の意欲向上をもたらした。イトウシャディの業績アップは、社員のモチベーションを上げる環境作りの重要性を改めて教えてくれる。

(取材:鈴木 富貴)



イトウシャディ吉田店のスタッフと伊藤社長

【会社概要】 イトウシャディ株式会社
 代表取締役: 伊藤義康(いとうよしやす)
 所在地: 牧之原市波津828-1
 設立: 昭和56年2月
 社員数: 20名
 事業内容: ギフト、生活雑貨販売
 HP: <http://www.gift-ito.jp>



管理職のホンネ&女性社員のホンネ

職場での「雑談」どう思いますか？

△ 夢中になると声が大きくなるので気をつけてほしい。(40代 男性管理職)

△ 仕事以外の話も必要だけど、盛り上がりすぎておさまらなくなってしまう。(30代 女性管理職)

○ 話すことで明るくなる。ずっとシーンとしていると暗い職場で息がつかまる。(30代 女性社員)

○ 「ネクタイいいですね」とか言えることこそ女性。(40代 女性社員)

△ 仕事の能率が悪いとき、成果が出ていなときは、もっと集中してほしい。(50代 男性管理職)

○ リフレッシュして、あるいはコミュニケーションが円滑になって生産性が向上するのであれば全く問題無し。(30代 男性管理職)

△ 女性が多い職場で、「あまり上司と仲良くすると目をつけられる」と先輩にアドバイスされたので、上司との雑談は避けるようになった。(20代 女性社員)

○ 仕事以外でも話かけるように心がけたが、上司が変わった途端、コミュニケーションは評価外と言われ、1日しゃべらないこともあった。結局、その上司とは上手くいかなかった。(30代 女性社員)

○ 雑談で共感できるポイントを見つけるきっかけになることがある。チームワーク形成のために雑談コミュニケーションはとても大事と思う。(40代 女性管理職)

○ 男性管理職が黙々と仕事していて、「もっと話したい、コミュニケーション取りたいけど言えない」という男性役員のグチをよく聞いていた。(20代 女性社員)

仕事上の「雑談」は、コミュニケーションやリフレッシュとして捉えるご意見も多いようです。仕事ということを忘れず、業務やまわりの人に支障がないよう、程度とマナーも大切かもしれませんね。



第1回 女性を部下に持つ管理職研修開催(1/21)レポート

「女性の特性を活かす！成果を出す管理職とは」

女性社員を部下にもつ管理職の皆さま59名にご参加頂き、管理職研修を開催しました。

女性は、論理や目標数字よりも「誰かのために」という目的を持つと能力を発揮する傾向があり、上司や仲間と「共感できる関係性」を築くことも重要です。今回の研修では、女性の力を引き出すために、男性脳・女性脳の違いや多様な価値観を認め、個々に合った承認欲求を満たす重要性和管理職のコミュニケーション「傾聴・受容」をポイントに挙げ、ディスカッションを行いました。

今回のセミナーとディスカッションを通して、ご自身の日常を振り返り、

- 「寝めること自体に意識が足りなかった」
- 「男女の違い、その人に合った接し方が大事とわかった」
- 「夫婦関係でも活用できそう」
- 「他の企業の方とお話しができ幅が広がった」 など

気づきや、他社との共通点・相違点がわかったことも新鮮だったようです。

【研修概要】

日時： 2015年 1月21日（水）13:15～16:30
 会場： 静岡県教育会館 大会議室
 講師： 内田美紀子 / 株式会社るるキャリア 代表取締役
 参加者数： 59名



女性社員に対しての捉え方が変わったというご意見も多く、今後実践したいこととして、

- 「日常的に観察をしていきたい」
- 「その人の思いをしっかりと聞いていきたい」
- 「タイプ別に『I(アイ)メッセージ』で伝えていきたい」
- 「指摘事項もズームアウトでしていたのでズームインにしたい」
- 「結果にフォーカスしていたが、プロセスを褒めていきたい」など

「傾聴・受容」や「共感する」「褒める」「感謝する」ことへの関心が高く、日々のコミュニケーションに対する前向きな声が聞かれました。

とは言え、個々のタイプの見極め、褒める程度感、女性特有の感情や感覚で発言されたときなど、ご自身の対応力に不安を感じることもあるようです。

できそうなことから少しずつ意識していくだけでも、社員の能力を活かし、かつ気持ちよく働ける職場への一歩になることでしょ。



1人の「あったらいいな」の声
が20万個売上へ

るるキャリア代表 内田美紀子

内閣府主催「企業×女性起業家のマッチングイベント」が、1月13日に東京で開催され、小さくても個性あふれる女性起業家100名が全国から集まりました。同時開催された「J300 in Tokyo」では、女性ならではの視点を活かして業績を出している起業家に贈られるアワード大賞に、株式会社クライスメラ(Chrysmela)代表の菊永英里さんが選ばれました。菊永さんは、彼からもらった大事なピアスを落とした経験から、外れにくいピアスキャッチャー(耳の裏側のピアス留め)を商品開発したらビジネスになる！と起業したそうです。

あなたが管理職だったら、こういう提案をされた時、どんな一言をかけますか？「単価はいくら？大きな売上げは見込めないな…」「最初はブームになってもその先どうなのかな」「マーケティングしてからじっくり検討しよう」管理職からはそんな声が聞こえてきそうです。

「自分だったらできない発想だ！」「なるほど面白いね！」そんな一言がすぐに出てくる職場風土なら、間違いなく業績がアップする企業です。なぜなら、Chrysmelaのピアスキャッチャーは楽天市場2014年上半期ランキングジュエリー・アクセサリー部門で1位を獲得、2007年会社設立以来、急成長していますから。

「隣の女性社員がビジネスのヒントを持っているかも…」と耳を傾けてみると、意外な大きなビジネスの原石が転がっているかもしれません。

INFORMATION



《2月の研修》

- 2月 6日（金） 13:30～16:45 …沼津
- 2月 13日（金） 13:30～16:45 …静岡
- 2月 18日（水） 13:30～16:45 …浜松
- 第1回 女性社員向け 働く意欲向上 & スキルアップ研修
 しなやかに働く。私の未来プロジェクト
 テーマ：[成長を確認～自分の強み・課題を知る]
- 2月 19日（木） 13:15～16:30
- 第2回 女性社員を部下に持つ管理職研修
 テーマ：[女性社員のやる気を引き出す実践編]

プログラムに関するご質問・お問い合わせ

株式会社るるキャリア

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町11-1 浮月ビル5階
 TEL : 054-252-8820 FAX : 054-270-6520
 URL : <http://www.uruoiplus.jp>
 E-mail: fujinade@uruoiplus.jp